

各 位

会 社 名 株式会社 ドン・キホーテ
代 表 者 名 代表取締役社長 兼 COO 成沢 潤治
お問い合わせ先 取締役総務本部長 兼 COO 稲村 角雄

テレビ東京系列番組「きらきらアフロ」での 弊社に対する誤解的放映内容に関して

さる9月7日及び10日夜、テレビ大阪・テレビ東京系列局で放映されたトーク番組「きらきらアフロ」(制作局はテレビ大阪)において、メインキャスターである、落語家の笑福亭鶴瓶氏が、画面に「ドン・キホーテ事件」とのテロップを明示した上で、有線放送契約に関する「当選商法(注)」の被害にあった旨のエピソードを紹介しました。

これは、過日、同氏が名古屋市内の弊社店舗にプライベートで訪れた際、『店頭での抽選に参加し、当たりが出て3万円相当のコンポ(チューナー)がもらえると言われたが、USEN社との月々の音楽放送聴取契約が必要と言われガッカリした』という内容であり、さらに同氏は番組の中で、『当たった物には裏がある、ひどいやろ』などとコメントしております。

(注)当選商法…くじ引きなどで当選したと言って相手を喜ばせ(実は抽選箱の中には当りくじしか入っていない)、有利な条件を強調して消費者に契約を結ばせる悪質商法

笑福亭鶴瓶氏が、一消費者として期せずして体験した、このような「当選商法」に怒るのはもっともなことであり、またそれを自身のトーク番組で取り上げ、視聴者に注意を促したことに關しては、弊社としても十分理解できます。

しかしながら弊社は、株式会社USENが運営・営業する当該音楽放送契約「SOUND PLANET」とは一切何の関係もありません。また今回の放送で指摘されている事実は、催事契約者である株式会社ベネフィットジャパン(USENの販売代理店)の関係者が行ったものです。

それにもかかわらず、同番組では敢えてこれを「ドン・キホーテ事件」とした上で、あたかも弊社が「当選商法」を行っているかのような印象を、番組視聴者に与えたことは誠に心外であり、遺憾の極みであります。言うまでもなく今回の件における当事者は、弊社ではなく「USENーベネフィットジャパン」であり、それがなぜ「ドン・キホーテ事件」なるものにすり替えられたのか、甚だ理解に苦しむところであり、文字通り「濡れ衣を着せられた」心境です。

何よりも驚き、呆れ、許せないのは、公共の電波を使用するテレビ局が、何の事実確認もせず、企業イメージを大きく失墜させかねないような誤解的放映を、いとも軽々しく無責任に行った点にあります。

テレビ局には独自の著作権、編集権が保障され、その放映の自由には誰も簡単に口出しすることが出来ません。だからこそ、たしかに事実確認に基づく、公明正大なスタンスが不可欠と言えるでしょう。もっとも今回の件は、そうした議論以前の、きわめて低レベルかつ予断をもった恣意的な制作意図さえ見え隠れします。

現在、弊社は当該番組を放映したテレビ局に対して、上記のような事実関係をつまびらかにすると共に、明らかに事実無根と言える誤解的放映内容に関する正式な抗議、謝罪要求等の準備を進めております。

一方、不適切な顧客勧誘を行い、結果として弊社の店舗・企業イメージを著しく損ねた株式会社ベネフィットジャパンとの催事契約は即日解除いたしました。さらに同社に対しては、名誉棄損に伴う損害賠償等の法的手段に訴えるべく着手しております。また株式会社U S E Nに対しても、厳重な抗議を申し入れております。

ただし弊社は、自社商業施設のデベロッパーとして、株式会社ベネフィットジャパンに営業許可を与えていたことは事実であり、その監督不行届きのそしりを免れるものではありません。仮に今回の件以外にも、似たようなケースでお客様の誤解を招くような行為があったとするならば、まさに不徳の致すところと言わざるを得ません。

今後、弊社としては反省すべきところは反省し、二度とこのような不祥事が起こらぬよう、テナント契約者はもちろん、催事契約者に関しても、契約締結時における企業内容等の厳正な見極めをすると同時に、出店後の営業姿勢にも細心の注意を払いながら、真にお客様に愛される商業施設として管理運営・監督を強化していく所存です。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社ドン・キホーテ 取締役総務本部長 兼 CCO 稲村 角雄

【電話】 03-5381-7592 (窓口：広報課)

以 上